

# Drexel University College of Medicine

## 留学紀行

山上 貴也 (H11年入局)

私は2010年3月からフィラデルフィアにあるDrexel University College of MedicineのDepartment of Neurobiology and AnatomyでPostdoctoral fellowとして研究をしています。ここにはいくつかの研究室があり、主に脊髄損傷に関する研究が行われています。

私はDepartmentのChairmanでもあるDr. FischerがPIを務める研究室に属し、神経幹細胞移植を受けたラット脊髄損傷モデルの組織、機能評価を行っています。近年ES細胞やiPS細胞を用いた脊髄損傷の治療が注目されていますが、神経幹細胞移植にも優れた点があるため、私の研究室では臨床応用を目指していろいろな試みがなされています。

実際の研究ではメスやエアトーム、顕微鏡などを用いた手術を行うため、整形外科医としての技術を維持、向上させながら基礎実験ができ、理想的な環境だと思います。

多忙な時期もありますが、比較的時間に余

裕のある時期もあるため、海外留学の醍醐味である旅行に行く時間も十分に確保できます。フィラデルフィアはニューヨークシティとワシントンDCの中央に位置し、どちらにも車で2~3時間で行くことができるため、週末を使って手軽に小旅行を楽しむことができます。また、空港へのアクセスも便利のため、留学中に西海岸やグランドキャニオンにも行く予定です。

帰国まで残すところ1年となりましたが、思い残すことなく留学生生活を満喫したいと思っています（言うまでもありませんが研究メインです）。

この留学は私の人生においてとても貴重な経験となると思います。このような機会を与えて下さいました大塚教授、松下医局長、お力添えいただいた医局の先生方に心より感謝申し上げます。また、基礎研究の初歩より教えて下さいました浅井教授、永谷先生、青山先生にも併せてお礼申し上げます。

